



とちぎ

PTA新聞

-212号-

子育てセミナー

2025



●子育てセミナー 2025

●「特色あるPTA活動プロジェクト」事業・活動紹介

●初めてのWEB広報紙 横川東小PTAの取り組み

●とちぎのこと知ってる？4つの“県のシンボル”

—県の4つシンボルが擬人化！？ しゃべるシンボル登場！！—

～カモシカ編～



「県木 トチノキ」



「県鳥 オオルリ」



「県花 ヤシオツツジ」



「県獣 カモシカ」



子育てセミナー



2025

強く生きるためのヒント

～野々村友紀子が伝えたい人生で大事なこと～

令和7年11月8日（いい親の日）に 主催：栃木県PTA連合会 共催：宇都宮市PTA連合会／日光市PTA連絡協議会の共同による子育てセミナーが開催されました。講師のお話に会場は笑いと共感に包まれた温かな時間となりました。



講師 野々村友紀子氏



大勢の参加者で埋め尽くされた会場

ライトキューブ宇都宮2階大会議室にて「子育てセミナー2025」が開催されました。

講師に放送作家「野々村友紀子」氏をお招きし、「強く生きるためにヒント～野々村友紀子が伝えたい人生で大事なこと～」を演題に、娘さんたちに宛てて書き綴ったご自身のノートの言葉についてお話を頂きました。

当日の講演会は会場定員がほぼ満席となる申し込みがあり、野々村氏のお話を聴きたいという参加者の熱意を感じる会となりました。

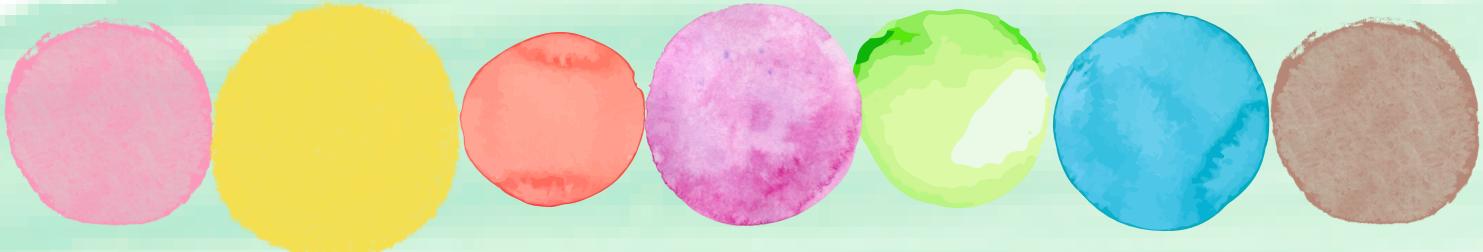
野々村氏は1992年から芸人として活動後、放送作家へ転身。現在はバラエティ番組の企画構成に加え多方面で活躍されています。二人の娘がおり、その娘さんたちに伝えたい言葉とその思いを、関西の方らしく笑いを交えながら語られました。講演会の演題である「強く生きる」ための心掛けを教えて頂きました。

講演内では、野々村氏ご自身が一人っ子でコミュニケーションが苦手な子供であったこと、母親から「強く生きなさい」

と教えられたこと、「強く生きていくために」自分の力で前を向いていく強さが大切と考えていることが、まず印象に残りました。

思春期の娘さんとのよくあるやりとりや、母として娘たちに伝えたいこと、生きていくうえで大切だと思うことを日々ノートに書き溜めたこと。それがあるテレビ番組で紹介されたことがきっかけで本になったこと。そしていくつかの言葉を紹介して頂きました。その中には「嫌いな人のことをわざわざ考えるな」「自分が思っているより、他人は自分を見ていない」「考えるな、寝ろ」「どうしてもつらい時は逃げなさい」など、他人を気にして自分の時間を浪費するよりも、自分を大切にして前向きにいこうという親から子への思いを感じました。

最後に「幹は太く、枝は細く」（絶対折れない自分を持つつつ、日常の細かいところは気にしない）という言葉でまとめられ、参加者にとって有意義な時間を過ごせたこと思います。



「特色あるPTA活動プロジェクト」事業 令和8年度 参加団体募集！

令和7年度からスタートした“特色あるPTA活動プロジェクト”をご存じですか？
みなさんの「PTAでこんなことやってみたい」を応援するこの事業！！
参加してくれた団体はいろんなアイデアで活動しており、大変好評を得ています。

「持続可能で魅力あるPTA活動」を応援します！

- ・PTA組織運営に関する負担低減アイデア
- ・親子で楽しめるイベント
- ・地域とつながる活動
- ・食育、健康づくり
- ・防災訓練、登下校の安全強化
- ・人権教育
- ・PTA広報の強化（新聞・Webなど）
- ・スマホ・SNSの安全教育
- ・その他「ウチならでは！」の企画

... 等々



募集概要

- ・対象：単位PTA、市町P連など
- ・補助：1団体10万円（最大2年）
- ・募集数：7団体
- ・募集期間：1月～2月末
- ・応募方法：所定の申請書を栃木県PTA連合会事務局へ提出

次のページでは令和7年度に選定された団体のうちの1つ、下野市立祇園小学校PTAと親の会が企画した“親子防災宿泊体験”を紹介します。



祇園小PTA + 親の会（カンピ団） 防災体験「親子で学校に泊まろう」



防災宿泊体験を通して、子どもたちは災害時に落ち着いて行動する力を育みました。親子で学校に泊まり、協力し合いながら”もしも”に備える貴重な一夜に。防災と絆、そして学びにあふれた2日間の様子を紹介します。

1日目



避難所をつくる！親子で宿泊体験！

初日のテーマは「避難所体験」。実際の避難所では、被災者自らが準備や運営を行うことが求められます。子どもたちは親子で力を合わせ、テントやベッドの組み立て、非常食づくりに挑戦しました。

タイムスケジュール	
16:30	集合・防災資材組み立て
17:30	レクリエーション
18:00	夕食準備 非常食づくり
18:30	夕食実食
19:30	親子レクリエーション
20:30	かたづけ・就寝準備
21:00	就寝



16:30 避難所づくり開始！ 力を合わせてテントやベッドの組み立て



17:30 レクリエーション 防災すごろく
防災グッズについて楽しく学ぶ



18:00 非常食づくり アルファ化米おにぎり・インスタント食品・
缶詰・長期保存可能パン・スナック等



18:30 夕食実食



安全にひなんできるかな？
親子でしようがい物きようそう



親子の絆がためされる！?
息ぴったり！?こたえ合わせクイズ

19:30

親子レクリエーション

2日目



地域とつながる防災体験！

ラジオ体操から始まった2日目。避難所見学会からは地域の方々も加わり、体育館は活気にあふれました。「地域とつながる防災」をテーマに、地元消防団の協力による放水体験、下野市役所の給水車による給水体験、栃木県防災士会によるワークショップなど、"本物の体験"を通して、命を守る行動を学びました。

タイムスケジュール	
6:00	起床・ラジオ体操
6:45	朝食準備 非常食づくり
7:00	朝食実食・防災講話
8:30	避難所見学会
9:00	放水体験・給水体験
10:00	防災ワークショップ
11:00	解散



6:00 ラジオ体操



7:00 防災講話
災害について



8:30 避難所見学会
地域の方を招いて



9:00 消防団による放水体験・市役所給水車から飲料水の給水体験



10:00 防災ワークショップ
新聞スリッパ・ビニール袋ポンチョ・ダンボールトイづくり



2日間を振り返って

- ・非常食がおいしかった。
- ・避難所生活を知れた。
- ・エアベットがフカフカでよくねむれた。
- ・いろんな体験ができるよかったです。

参加児童



- ・とてもいい活動を感じた。
続けていきたいと思う。
- ・親子で楽しい時間が過ごせました。
- ・"もしも"のために備えた貴重な体験だった。

参加保護者



地域と共につくる防災教育の新しい形

昨年よりも内容を一層ブラッシュアップし、授業内での防災学習を体験活動へとつなげることができました。また、近隣の皆様にもご参加いただき、学校とPTAが協力して、地域と「共に」「同じ場で」防災について学ぶ貴重な機会を創出することができました。

本活動を通して、子どもたちが、将来地域を支えるジュニアリーダーへと成長してくれることを願っております。何より、多くの皆様のお力添えにより開催できましたことに、心より感謝申し上げます。

下野市立祇園小学校 PTA副会長 金子 裕恵

取材を通して感じたこと

「まるで、キャンプみたい。」それが体育館へ一步踏み入れた瞬間の感想でした。子どもたちが笑顔で汗だくになりながら、真剣に簡易ベッドを組み立てていました。その様子から、防災を学ぶ入り口はまず「楽しく」からでもよいのではと強く感じました。防災ごろくでは、マスクやラジオなどの防災グッズが描かれていて、コマが止まったところに描かれた防災グッズを実際にゲットできます。また、放水体験では本物の消防車が来て、子どもたちがホースを持つ姿は消防士そのものでした。この防災体験は子どもたちやその家族にとって、防災について楽しく学べて有意義な2日間になったと思います。

情報発信委員会 副委員長 豊田 友希

初めてのWEB広報紙 横川東小PTAの取り組み

横川東小学校では、昨年度、初めて広報紙をWEBで発行！
担当者の工夫や苦労、WEB発行のメリットなどを紹介します。

Q.なぜWEBで発行することに？

今まで年3回、紙媒体で広報紙を発行していましたが、印刷会社とのやり取りや作業量が多く、役員の負担が大きくなっていました。また、年々役員が減少している現状に対応すべく、より効率的に作業できないかと考え、WEB版の発行に挑戦することにしました。

紙媒体での発行回数を年3回から2回に減らしWEBと併用する形にしました。
今後は特集記事などもWEB版で発行できればと考えています。

Challenge



Q.どんな準備をしましたか？

担当者各自がPCやスマホに「Canva」をインストール。自主練習や、みんなで「Canva練習会」を開催しました。

ページごとにテーマを決め、担当者を設定。取材、撮影、紙面編集までをページ担当者が行う。撮影に行けない時などは他の役員がフォローしました。

横川東小PTA 広報担当歴 4年目 玉川美代子さん

Q.工夫したこと、苦労したこと？

WEB版は始めたばかりで、試行錯誤の連続でした。ツールの環境やITスキルもメンバーごとに異なります。また、毎年メンバーが入れ替わるため、ノウハウの継承も大きな課題だと感じています。

「Canva」を使用したのは、子どもたちが学校で使用しており、親しみやすいと感じました。子どもに教えてもらいながら自主練習しました。

Q.WEB発行のメリットは？

- 印刷会社とのやり取りがなく、作業負担が低減した。
- データを共有でき、リモートで共同作業ができる。
- 色やフォント、レイアウトをすぐに変更、確認ができるため、作業がスムーズになった。
- ペーパーレスで経費削減になった。

Q.WEB発行後の保護者や先生の反応は？

学校のホームページ掲載担当の先生からは「素晴らしいページができましたね。」と感謝の言葉をいただきました。

掲載時には連絡網でお知らせしていただき多くの方に見てもらうきっかけになりました。

※Canva（キャンバ）誰でも直感的に使える、無料から始められるデザインツール。スマートフォン・タブレット・PCに対応しており、PTA広報誌やお知らせ、チラシ作成にも活用できます。



WEB版での発行はまだ始まったばかりで課題も多いですが、今後の発展につなげていけるよう工夫を重ねていきたいと思います。少しずつ経験を積み重ねながら、より多くの方に楽しんで読んでいただける広報紙を目指していきます。

横川東小PTA 玉川美代子

とちぎのこと知ってる？"県の4つのシンボル"

けんじゅう

県獸 「カモシカ」ってどんな動物？



特徴

ウシ科カモシカ属に分類される偶蹄類（体長1~1.2m）国の特別天然記念物に指定されている。オス・メスともに短い円錐形の角を持つ。草食性で、木の葉、木の芽、果実などを食べる。体の色は灰褐色。生息地は北海道と中国地方を除いた本州・四国・九州の山地丘陵地帯。

県のシンボル

野生動物保護と郷土愛の象徴として1964年1月17日に制定。栃木県では北西部（日光・那須連峰など）を中心に生息していたが、近年では東部地域での目撃が急増している。

しゃべるシンボル登場！！

「沈黙で語る、子どもの代弁者」クールな反骨哲学者



◆名前：シシド・カモシカ

♥性格：感情をあまり表に出さない。子どもたちの“曖昧さ”を大切にする。物事を斜めから見つめる。

➡️口ぐせ：「…それ、ほんとに子どものため？」
「理由なんて、なくていいよ。」
「“言い方”より聞く姿勢の方が大事だよ。」

💡名言 & 😂迷言集

💡名言：「"できた"も"できなかった"にもたくさんのがんばったがあるわ。」

💬注釈：結果ではなくプロセスを大事にする視点。

💡名言：「親と子。血はつながっていても、人生の物語は別の章よ。」

💬注釈：子どもは親の物語の続きを歩く存在ではないの。

💡名言：「大人ももっと楽しんで。その余裕が子どもには安心できる居場所なの。」

💬注釈：大人の余裕や安定感が、子どもが自分らしく成長する土台。

😂迷言：「『べつに』と『ふつう』は、そつとしてほしい時。」

💬注釈：そんな時は察して見守って。

😂迷言：「"ちゃんとしなさい!!"ってどうしたら正解なの??」

💬注釈：大人の当たり前は子どもにはクイズ。

栃木県PTA教育振興会からお知らせ

PTA教育振興会は、単位PTAの皆さまが、安心してPTA行事を実施できるよう「PTA活動補償制度」に取り組んでいます

この活動補償制度はPTAの皆さまの「安心できるPTA活動」をめざし、PTAが主催または共催する行事中に、各校PTA会員や児童・生徒、PTAが事前に行事への参加を認めた方に生じる事故について、総合的な補償を提供する制度です

PTA活動補償制度は、学校のPTA組織が、栃木県PTA連合会に加入していることで利用できます

《補償となるPTA行事例》

- ・学校の運動会の保護者競技にPTA代表として出場し、転倒して手首を骨折。
- ・PTA共催の親子レクリエーション（ドッジボール）中に転倒し、膝を負傷。
- ・PTA主催で除草作業活動中、誤って刈払機で石がはねて窓ガラスを破損。など



《加入手続き・保険料》

- ・単位PTA(学校)ごとの全員加入方式（個人単位での加入はできません）
- ・傷害保険料: 91円×PTA会員数、賠償責任保険料: 9円×児童・生徒数の合計が保険料になります。
単位PTA(学校)ごとのお支払いになります。

《補償期間》 毎年4月1日から（1年間補償）

《保険金を給付する内容》

- 1 傷害保険金** PTAが主催・共催する行事に参加中(自宅から活動場所への往復途上を含む)にPTA会員とその同居の親族、PTAが事前に参加を認めた方や児童・生徒が急激かつ偶然な外来の事故によるケガで医師の治療を受けた場合、保険金をお支払いします。（細菌性またはウイルス性食中毒、熱中症含む。）ただし、独立行政法人日本スポーツ振興センターから給付が行われた場合は対象なりません。
- 2 PTA賠償責任保険金** PTAが主催の活動に起因し、他人の身体、財物に損害を与えた場合に保険金をお支払いします。

今年度はこれまでに次のような保険金をお支払いしました

《PTA団体傷害保険》

- ・ソフトバレー大会で肉離れ 通院 20日 44,000円
- ・ソフトボール練習で肉離れ 通院 13日 28,600円
- ・バレーボール練習中足首捻挫 通院 19日 41,800円
- ・奉仕作業中蜂に刺され 通院 1日 2,200円 ほか

《PTA賠償責任保険》

- ・奉仕作業中草刈り機による飛び石で近隣住宅の窓ガラスを破損 13,300円の賠償
- ・レクリエーション大会中に体育館の縦幕を破損 30,460円の賠償 ほか

<問合せ先> 取扱代理店 株式会社 栃木保険 TEL 028-643-6611
栃木県PTA教育振興会 TEL 028-622-2839

栃木県PTA連合会推薦図書
初版から40年以上にわたるご愛顧ありがとうございます

「新しい常用漢字辞典」「改訂熟語辞典」
「改訂ことわざ・慣用句・四字熟語辞典」

教育図書学参部 TEL/FAX（無料）0120-963-180